

守谷ボランティア NEWS

2021年10月号(毎月1日発行)



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話: 0297-46-3370 FAX: 0297-46-3320
Email: moriyaborantia1@themis.ocn.ne.jp
ホームページURL: <http://moriya-cac.org/>
開館時間: 午前10時～午後6時(午後9時まで延長可)
休館日: 月曜日、年末年始

市民活動の幅を広げる

「守谷市文化協会美術部会主催写真展」

守谷市文化協会美術部会に所属する、フォトサークル悠遊とフォトクラブ写遊の写真展です。

- 会場 守谷市市民交流プラザ 市民ギャラリー
- 日時 10月14日(木)～10月20日(水)
9:30～17:30(最終日は16:30まで)
※10月17日(日)は9:30～12:00のみの展示
で、午後は入場できません。
- 問合せ先 市民活動支援センター ☎ 46-3370



子どもの読書活動推進と動物愛護活動ボランティア推進 犬といっしょに読書

- 日時 11月6日(土) 13:00～15:30 (12:30開場)
 - 会場 市民交流プラザ市民ギャラリー
 - 定員 会場参加 40人
オンライン参加 30人
- ※第2部は会場のみになります。
※感染状況によってはオンラインのみ、または中止となる可能性があります。
- 参加費 無料
 - 申込方法 右のQRコードから申し込む
※電話受付も可



Web 申込み

- 協力 守谷市動物愛護協議会
- 主催・申込・問合せ先 市民活動支援センター

第1部 講演会

- ①児童文学作家の今西乃子さんが、殺処分
の前日に救われた、一匹の捨て犬を通して
「命の可能性」と「命の尊さ」を伝えます。
- ②ジョン君の飼い主で絵本専門士でもある
飯塚みどりさんによるお話会です。



第2部 わんちゃん読書会

子どもが犬に読み聞かせをするという、ユニークなプログラム。声を出すのが苦手だったり、緊張してしまったり、間違えたりしても、犬はけっして急がせたり批判しません。そんな穏やかな犬と、ゆったり本の世界を楽しみませんか。



ジョン君

セラピー犬のジョン君に本を読んであげる子募集

「犬に本を読んであげたことってある？」
声を出して、好きな本をジョン君に読んであげよう。ジョン君が一生懸命、君が読む本のお話を聞いてくれるよ！

- 募集人数 2人
- 読み聞かせ時間 各10分間
- 年齢 ひとりで本を読める園児～小学生
- 応募方法: 本を読み聞かせしたい理由を教えてください
(200字以内) ※書類選考
- 申込方法 10月24日(日)までに市民
活動支援センターにメールで申し込む
※窓口受付も可



センターメール

助成金情報 * 内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

福祉・社会教育	～10/8 認定NPO法人取得資金助成 公益財団法人 SOMPO 福祉財団 https://www.sompo-wf.org/
環境・まちづくり	～10/10 地域美化助成(旧:花と緑の助成・清掃助成) 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 https://www.7midori.org/
福祉・社会教育	～11/5 2022年度 日本郵便年賀寄付金配分団体の公募 日本郵便株式会社 https://www.post.japanpost.jp/index.html
環境	～10/31 第32回コメリ緑資金助成 公益財団法人コメリ緑育成財団 http://www.komeri-midori.org/



こんにちは！守谷のボランティアさん

「立沢里山の会」の活動に参加・取材に行きました！

2021年8月28日(土) 9:00~12:00@立沢里山

★「立沢里山の会」とは★

立沢里山は大井沢小学校の近くにあります。実際に里山では、御所ヶ丘小、松前台小、大井沢小の地域の小学生による田植えや稲刈りなど農業体験が行われています。さらに、小学生だけでなく、未就学児の自然観察会などもあり、誰でも自然を楽しめる場となっています。

また、里山づくりを通してポイ捨てや不法投棄などの問題にも対処しています。里山ができる前は田んぼも荒れていて、ゴミが多かったそうです。それを何とかしようと発足したのが立沢里山の会でした。今はそのような姿が想像できないぐらい自然豊かで、綺麗に整備されていて、ボランティアの方たちの努力の賜物だと思います。

から守るために、田んぼの周りにスズメ除けのテープを貼りました。風に舞い、キラキラ光るテープはスズメの視覚を刺激したり違和感を覚えたりするため、スズメを寄せ付けないそうです。



★活動スタート★

9時に活動がスタートしました。まずは集まってその日やることを確認しました。全員で熱心に話し合い、打合せが終わりました。



最初に、近くの竹林に行き、竹を切りました。今年切るべき竹を見極め、テキパキと切っ

ていてさすがだなと思いました。古い竹を切るのが、古い竹と新しい竹は音が全然違います。今回の竹は稲を干すはぜ掛けに使います。稲を干すことで、割れ粒の発生を減らしたり、稲が逆さまになるので甘みが最下部の米にも行き届いて栄養やうま味が増したりします。他にも切った竹で流しそうめんをすることもあるそうです。少し休憩をした後は、小学生の農業体験用の稲をスズメ

活動が終わった後、里山全体を案内していただきました。ツリーデッキに登ったときにそこから見た里山の景色は緑が多く、綺麗でした。小学生の農業体験用の稲以外にも未就学児の農業体験用の稲や育てている野菜なども一望でき、最高でした。



★取材しての感想★

この日はとても暑い日で、活動が大変でした。それでも、ボランティアの方たちはずっと動いていて、この里山はそのような頑張りで支えられているのだなと思いました。

<取材：庄野、朝賀>

編集後記

守谷市にもインクルーシブ公園が誕生します。こどもも大人も障がいがある子もない子もみんなが遊べる公園です。現在、数多くの福祉用語が使われています。どんな意味なのか整理してみました。

- ①バリアフリー：社会生活を送るうえで障壁となるもの(物理的、社会的、制度的、心理的な障壁、情報面での障壁など)すべてを取り除くこと。
- ②ユニバーサルデザイン：障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインすること。
- ③ダイバーシティ：人種・性別・嗜好・価値観・信仰などの違いを受け入れ、多様な人材が持つ可能性を發揮させようとする考え方。
- ④ノーマライゼーション：障害者を排除するのではなく、障害をもっていても健常者と均等に当たり前に生活できるような社会こそが通常な社会であるという考え方。
- ⑤インクルーシブ：あらゆる人が孤立したり、排除されたりしないよう援護し、社会の構成員として包み、支え合うといった理念のこと。